



あまごしまち

議会だより

3月会議 No.48

平成29年5月1日

29年度予算	一般会計100億37万円	… 2
	意見を付して原案可決、予算審査特別委員会	… 4
	議会基本条例を制定	… 7
2月会議	一般会計補正予算	… 10
一般質問	9議員が18項目	… 11
追跡	あれどうなったのじゃ	… 22
ふれあいコーナー		… 23



主要課題を重点的に

100億37万円

前年度比1.9%の増

3月会議が3月2日から21日まで開かれました。一般質問には9人の議員が登壇、議案審議では新年度予算や条例改正など30件を原案のとおり可決、1件を否決しました。また、行財政・議会活性化調査特別委員会で検討を続けてきた議会基本条例を全員賛成で可決しました。

美里町総合計画・美里町総合戦略に基づく事業を継続する

29年度当初予算の編成は、持続可能な財政基盤の確立を図りながら、美里町総合計画・美里町総合戦略を基に、引き続き子育て支援の充実、産業の振興、教育環境の充実などの主要課題に対して重点的に取り組むことを基本方針としています。

歳入面では町税は前年度に比べて増額を見込み、町債は必要最小限の予算額とし、できるだけ将来に負担を残すことのないようになっています。歳出面では住民の福祉の維持向上を図るため、最小の経費で最大の効果を上げるようにしています。

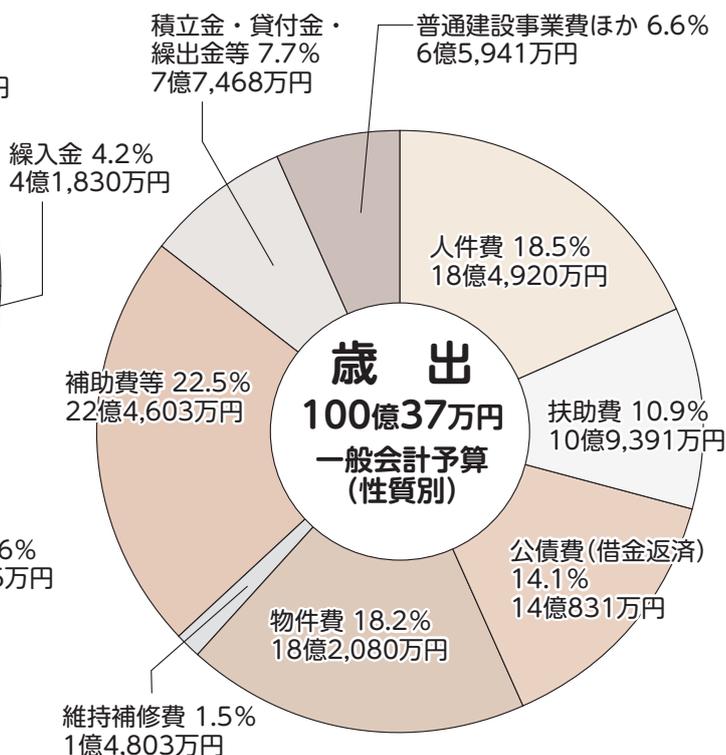
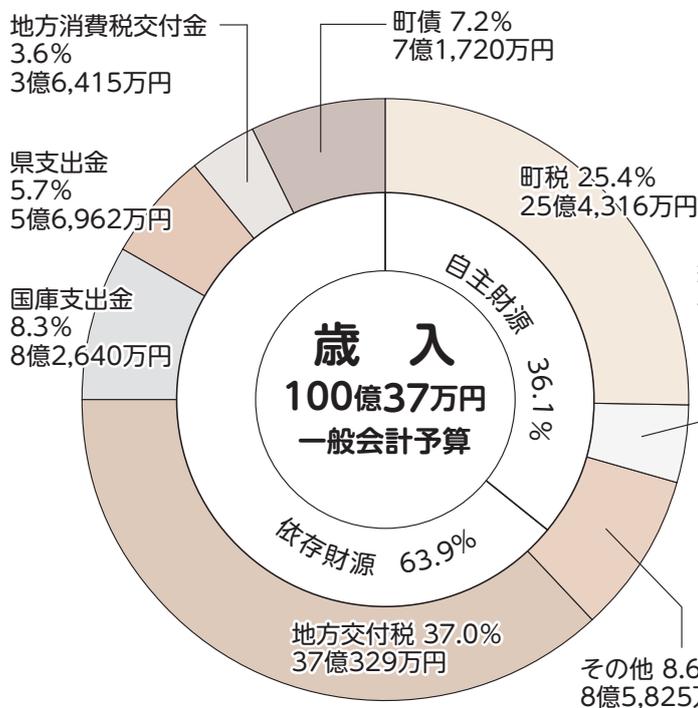
また、国民健康保険特別会計は、制度の財源基盤である国民健康保険税の収納確保に努め、特定健康診査の実施や保健指導を積極的に推し進め、医療費の増加を抑制し、健全な財政運営を図っていきます。

会計名	平成29年度予算	対前年度		
		増減額	増減率	
一般会計	100億 37万円	1億8,613万円	1.9%	
国民健康保険特別会計	33億7,782万円	△8,232万円	△2.4%	
後期高齢者医療特別会計	3億 288万円	144万円	0.5%	
介護保険特別会計	24億6,979万円	6,133万円	2.5%	
水道事業計	収益的支出	7億1,109万円	△3,822万円	△5.1%
	資本的支出	3億5,965万円	7,017万円	24.2%
病院事業計	収益的支出	7億4,470万円	1,632万円	2.2%
	資本的支出	1億 874万円	△5,276万円	△32.7%
下水道事業計	収益的支出	9億5,856万円	△5,125万円	△5.1%
	資本的支出	12億8,958万円	3億 181万円	30.6%

(1万円未満を四捨五入、△はマイナス)

予算を可決

一般会計予算は



新年度予算分析(一般会計)

〈一般会計 歳入〉

項目	29年度	対前年増減
町税	25億4,316万円	3.7%
地方交付税	37億 329万円	△5.6%
国庫支出金	8億2,640万円	12.5%
県支出金	5億6,962万円	△1.0%
町債(借金)	7億1,720万円	30.4%

〈一般会計 歳出〉

項目	29年度	対前年増減
人件費	18億4,920万円	0.5%
補助費等	22億4,603万円	△1.4%
公債費(借金返済)	14億 831万円	△0.8%
普通建設事業費ほか	6億5,941万円	28.7%

今年度の主な事業(抜粋)

住民バス運行業務委託料	5,134万円
デマンドタクシー運行業務委託料	1,106万円
町長及び町議会議員選挙事業	1,768万円
臨時福祉給付金事業	9,556万円
地域型保育施設整備事業	4,390万円
大崎地域広域消防事業	3億7,559万円
幼稚園給食調理業務委託料	1,702万円
道路橋りょう維持管理事業	2億2,341万円
道路新設改良事業	2億4,434万円

議会費 1億 862万円

29年度予算審査

可決

予算執行に15項目の意見

行財政・議会活性化調査特別委員会

委員長 平吹俊雄

予算審査報告書

「意見を付して原案のとおり可決すべきものと決した」

- ①町税等の収納向上になお一層努力されたい
- ②生涯学習、スポーツ、文化事業を関係課と連携し、町民の健康維持・増進を含め、人づくり、地域づくり、まちづくりに一層努められたい
- ③増加している保育所及び放課後児童クラブ待機児童解消のため、保育士確保と施設整備に努められたい
- ④健康づくりについては、各課連携を強化し対処されたい
- ⑤障害者グループホーム施設整備を早急に進められたい
- ⑥人間ドック、脳ドックの対象年齢拡大を図られたい
- ⑦ごみ減量化の更なる施策を図られたい
- ⑧農工商連携により商品開発、ブランド化、販路の確保を図り、産業の活性化に努められたい
- ⑨町道等の維持管理は、計画どおりに推進されたい
- ⑩自主防災組織と連携し、原子力災害及び水害を含めた総合防災対策の充実を図られたい
- ⑪小牛田地域幼稚園の給食開始に向け、万全を図られたい
- ⑫南郷給食センター調理業務の民間委託については、管理、指導を図られたい
- ⑬公共下水道の整備促進を図り、水洗化率の向上になお一層努められたい
- ⑭(国民健康保険)平成30年度からの都道府県単位化に向け、万全を期されたい
- ⑮(病院事業)医師確保に、なお一層努められたい



平吹俊雄委員長

29年度予算の7議案は、行財政・議会活性化調査特別委員会の分科会で詳細な審査を行いました。16日は午前現地調査を行い、同日午後2時合審査では4人の委員が17項目を町に質疑しました。特別委員会では分科会の報告をもとに、予算7議案は原案のとおり可決すべきとの審査報告書を議長に提出しました。

予算編成の概要を問う

総括質疑

問 29年度予算の特徴は？
29年度予算編成の特徴的な政策は？

答 扶助費として、待機児童解消のため、保育士、児童厚生員、幼稚園の非常勤教諭等の処遇改善、新たな小規模保育所への支援。産業振興では、人・農地プラン等事業を活用

による農地集積、農作物の産地形成促進事業、6次産業化での付加価値創出事業等、さらに、起業サポートセンター通称Kiribibiによる起業創業支援。

教育関係では、小中学校の学校教育専門指導員と学力向上支援員を1名配置し、特別支援教育専門員を新規に設置する。さらに、小牛田地区での幼稚園給食の提供開始により町全体で同じ給食提供の環境を整える。

公共施設、インフラ関係では、道路橋りょう維持管理事業、道路新設改良事業を重点的に整備し、公共施設の長寿命化計画を進めていく。

問 本町の第3次健全化計画と29年度予算とのかわりは？

答 30年度に向けた財源確保のため、29年度に入り次第、事務事業の見直しによる再編が必要である。

ふるさと応援

寄附金は

問 ふるさと応援寄附金500万円の根拠は？

答 本町でも、遅れていたインターネットを活用して簡単に寄附ができる環境づくりを行い、さらに、特産品をPRし達成したい。

予算の詳細を問う

連合審査

シルバー人材センター

支援事業は

起業創業情報発信

業務委託料は

問 町内業者の仕事を圧迫していないか。

答 高齢者が働くことを通じ、生きがいを得るとともに社会や地域の活性化に貢献する組織であり、営利目的とした団体ではない。影響される事業者があるか調査してみる。

問 利用者による協議会設立と運営支援の内容は。

答 利用者による協議会や利用者への協議会の設立に向けて取り組む予定であり、現在利用者を募集中である。

問 36万3000円の委託料と委託先は。

答 ホームページ情報発信などの管理の委託料である。委託先は今後、業者の選定を行った上で決定する。

観光物産振興事業は

問 観光物産振興事業委託料1126万円の内容は。

答 催事への出展事業、物産観光PR事業、情報発信事業、小牛田駅構内の美里町総合案内事業及びこれらの事業に係る一般管理事業費である。

問 美里町物産観光協会への補助金200万円、28年度と同額の理由は。

答 町の物産観光に必要な取り組みを、一般社団法人美里町物産観光協会が連携して実施しており、本年度も同様に町の物産観光振興に果たす役割を重視しているからである。

問 昨年4月に社団法人として独立した協会の自立はいつか。

答 事業主体は物産観光協会であるが、町からの補助金は3年間という経緯でもあり、働きかけを強くしていく。

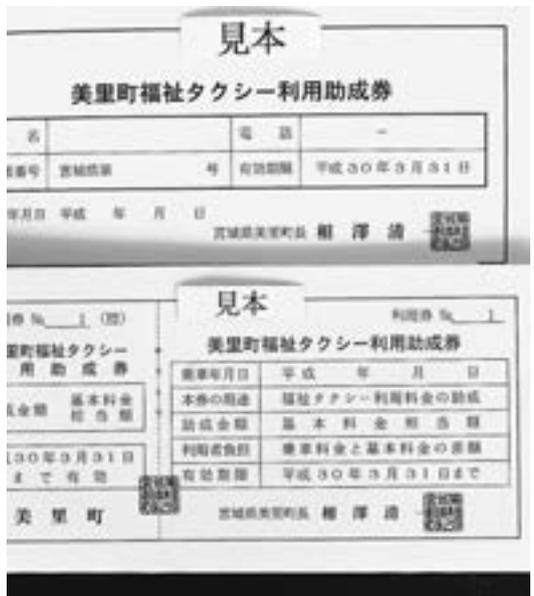
避難行動要支援者名簿等作成事業は

問 既登録者数、その区分と内訳、利用方法は。

答 29年2月27日現在、登録者数1199人、重複もあるが、要介護認定者141人、障害者226人、そのほか高齢者等895人である。各地域での防災訓練等に利用されている。

ひとり暮らし高齢者等見守り支援事業は

問 ボランティア保険料がふえ、システム運営業



利用されているタクシー券

務委託料が減った理由は。

答 保険料増は、協力を増やし見守り支援を実施するためであり、委託料減は28年度実績に基づいたものである。

特別支援教育推進事業は

問 予算化した理由は。

答 29年度が1年目で教職経験豊富で専念できる非常勤職員を配置する。

福祉タクシー利用

助成事業は

介護予防・生活支援

サービス事業は

問 利用助成減額は。

答 利用が多かったタクシー会社1社が休業し、以降の利用数が減少したためである。

問 事業が新設された目的は。

答 27年度介護保険法改正により介護予防・日常生活支援総合事業を実施するためである。



小牛田駅にある観光案内所

予算審査 分科会審査内容

29年度予算を担当課ごとに慎重審査

予算審査は二つの分科会に分かれて、担当課ごとに詳細な審査を行いました。

教育、民生 分科会

増加する待機児童の 解消を

待機児童数は保育所47名、放課後児童クラブ4名となっており、昨年4月よりも大きく増加している。

非常勤職員の時給引き上げなど待遇改善は図られたが、公募しても応募がないという状況も現実であり、保育士確保はなお一層の努力が必要である。

また、保育施設が足りないことも現実であり、保育所整備に早急に取り組みべきである。

人間ドック、脳ドックの 対象年齢拡大を図るべき

人間ドックは65歳まで、脳ドックは60歳までの事業となっているが、発病するのはその年齢を過ぎてからが多い。年金暮らしでのドック受診は負担が大きい。

事業の年齢拡大は高齢化社会に向けた町民の健康づくりとなり、それが国民健康保険特別会計の健全化に結び付く。

幼稚園給食は 安全、安心な提供を

29年度から小牛田地域の幼稚園で給食が開始されることから、配食の段取り、アレルギー食への対応など安全で安心な給食を提供されるよう求める。

南郷病院の 医師確保に努めよ

院長、副院長先生には引き続き勤めていただくことに感謝する。

また、東北大学東北メ

総務、産業、建設 分科会

当初予算に 苦心が見られる

国の地方財政対策を見ても地方交付税総額が前年度比2・2%減少して

デイカル・メガバンク機構から医師を派遣していただくことにも感謝する。医師の確保について引き続き、働きかけが必要である。

苦心が見られる

国の地方財政対策を見ても地方交付税総額が前年度比2・2%減少して

道路の維持管理は 計画どおり推進を

道路橋りょう維持費、

いる。このことに加えて、本町では合併特例算定が終了し、年々交付税額が減少している大変厳しい状況にある。

農産物の産地形成 商品開発、ブランド化を

農産物の産地形成促進事業は28年度で地域振興

前年度まで当初予算では科目設定に終わっていた繰越金に5000万円を計上し、ふるさと応援寄附金も2倍に増額して計上するなど、苦心が随所に見られる。

農産物の産地形成 商品開発、ブランド化を

農産物の産地形成促進事業は28年度で地域振興

作物を見直し、30年度から5品目に絞って重点的に取り組んでいく。

ふるさと応援寄附金の返礼品とも関係し、観光物産事業推進にもつながるものであることから、産地形成、商品開発、ブランド化の取り組みをあらためて要望した。



道路新設改良の現地調査

議会基本条例の制定

(要旨) 平成20年12月議会

より特別委員会を設置し、議会改革に皆様とともに取り組み、その項目の一つである議会基本条例は、他自治体の条例の各項目を一つ一つ検討し、実践して取り組み決定をしてみました。

項目は条例、規則、その他において条例化、規則化されているので、主に理念や活動原則について規定しました。

町民に選ばれた議員により構成される美里町議会が、町民の代表機関として、地域における民主主義の原則の発展と、町民の福祉の向上のために果たす役割は大きくなっています。

議会はその持てる機能を駆使し、自治体事務の立案、決定、執行、評価

における論点及び争点を、町民に明らかにする責任を有しています。自由で闊達な討議を通じて、公正性及び透明性を確保することに、町民に信頼される議会を目指します。よって、ここに美里町議会基本条例を制定しました。

第1条 目的

第2条 議会の活動原則

第3条 議員の活動原則

第4条 情報公開

第5条 最高規範性

第6条 見直し手続き

第6条第2項

特別委員会設置

附則として、この条例は29年4月1日から施行するものです。

賛成全員(可決)

行財政・議会活性化調査特別委員会

中間報告

(要旨) 議会報告会を28

年10月に4日間、12カ所、3班体制で行いました。

議会報告会

次年度への提案として引き続き懇談会方式で実施すること、町民の声を直接かつ広く聴取し、取りまとめに当たってはそれらを集約して、全議員の共有化を図ることに重点を置くこととしました。

議員定数、報酬

現定数16人の現状維持とし、議員報酬は、現在の3区分、議長、副議長、議員に係る報酬額については、現状維持としました。

委員長等の活動負荷を考慮し、常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長の報酬の区分を新たに加え、次期改選後からの適用としました。

議会事務局体制

定員適正化計画での議会事務局職員は3名であるが、1名増員することを要望としました。

議員費用弁償

議員費用弁償は、美里町特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例との整合性を図り、月額1000円とし、次期改選後からの適用としました。

政務活動費

政務活動費は、導入するには経費の使途基準を精査し、町民の理解を得る必要があることから、現時点では時期尚早であるとしました。

今後の取り組み

議員報酬に係る常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長の報酬の区分を新たに加えることは、美里町特別職の職員の報酬等審議会の意見聴取を踏まえて進めていくことになり、議員費用弁償は、関係例規の見直しが必要となることから、引き続き第2分科会で協議を行うことになりました。

なお、本特別委員会全体での協議事項としたものも含め、各分科会に付託された取り組み項目は一通り審議したことから今後の進め方として、これまで議会活性化のために取り組んできた項目についての確認作業を行うことを本特別委員会で確認しました。

賛成13 反対1 (可決)

美里町郷土資料館条例を審議

郷土資料館設置に必要な

事項を条例で定める

(要旨) 目的は考古資料、民族資料、文書資料その他の郷土の歴史に関する資料の収集、保管および展示を行い、文化の向上に資するためであり、これらの改正は29年4月1日から実施されます。

賛成13 反対1 (可決)

質疑

問 第5条に館長その他必要な職員を置くことができるかとあるが、置くことを前提に考えているのか。

答 教育総務課長が館長を兼務し、文化財係の職員が郷土資料館の職員を兼務する考えである。

問 「美里町郷土資料館」

の名称は、町でつけた行政用語みたいな感じがする。別名、愛称などの考えはあるのか。

答 郷土資料館という堅苦しい名称ではなく、親しまれやすい名称を今後検討していく。

自転車等駐車場条例の

一部を改正する条例

(要旨) 小牛田駅前自転車等駐車場の設置以来、利用者数が減少し、利用がない状態となっていることから、出来川自転車等駐車場の役割を終えたものと判断し、当該駐車場を廃止するものです。

賛成全員 (可決)

質疑

問 この後の利用や計画はあるのか。

答 敷地の一角を藤ヶ崎行政区ごみ集積所として利用している。

また、防災資材等を保管する倉庫が建っている状況である。

質疑

問 提案理由の中に情報提供ネットワークを利用して他の地方公共団体等とあるが、「等」にあたる団体は。

答 独立行政法人などがある。

個人情報保護条例の

一部を改正する条例

(要旨) 法改正により国の個人情報保護委員会が定める要件に適合し、その委員会に届けを行ったものは、ほかの地方公共団体等と特定個人情報の授受ができることになり

ます。

賛成12 反対2 (可決)

権利を放棄することについて

返還請求額4104万

3287円を放棄

(要旨) 東京地方裁判所において破産手続きの費用を支弁するのに不足することを理由に株式会社DIOジャパンの破産手続きを廃止する事が決定されました。それらにより美里町コールセンター人材育成事業委託料4104万3287円が回収不能となり、返還請求権を放棄するものです。

賛成13 反対1 (可決)



オープンが待たれる郷土資料館

一般会計

4,214万円を減額

一般会計

(要旨) 4,214万円を

減額し、総額を101億

2774万円としました。

歳出の減額の主なものは、総務費710万円、

民生費1億461万円、

商工費876万円、土木

費5237万円です。

歳入では町税に827

万円、県支出金に1億4

839万円を追加し、国

庫支出金5699万円を

減額しました。

賛成12反対2(可決)

質疑

問 ほど木集積運搬業務

委託料1548万円の積

算根拠は。

答 運搬するほど木の量

は222トンで本数にす

ると約3万本になる。

フレコンバック、囲い

のシート、さらには土の

う、それに付随する搬出

入の経費、運搬諸費用を

全て勘案した積算であ

る。

問 小牛田駅東駐車場使

用料現年分585万円を

減額した理由は。

答 当初では660万円

の駐車場使用料の歳入を

見込んでいたが、2月の

時点で63万円の歳入であ

る。これは1割にも満た

ない状況になっているの

で、3月をもって一時休

止の措置を考えている。

問 南郷球場施設管理建

物等工事請負費、グラウ

ンド改修工事請負費の3

07万円減額は。

答 全面の土を入れ替え

る予定であったが、昨年

の3月に土の補充などを

したので、全面改修では

なく、ダイヤモンドの部

分改修で減額になった。

問 小牛田保育所分園改

修工事請負費564万円

の減額は。

答 29年度に児童福祉施

設の長寿命化計画策定委

託料を予算計上している

ので、今回は必要最小限

の改修にとどめた。

問 志賀町住宅駐輪場設

置工事請負費842万円

の減額は。

答 一カ所の設置を予定

していたが、二カ所に設

置してほしいという要望

があり、調整がつかず今

回は見送りにした。

国民健康保険特別会計

(要旨) 被保険者数の減

少による保険給付費の減

額、共同事業交付金の減

額など1億2904万円

を減額し、総額を33億6

786万円としました。

賛成全員(可決)

下水道事業会計

(要旨) 業務の予定量、

収益的収入及び支出、資

本的収入及び支出、企業

債、議会の議決を経なけ

れば流用することができ

ない経費、他会計からの

補助金についての補正で

あり、公共下水道事業収

益で708万円を減額し、

収益的収入合計を10億1

804万円としました。

賛成13反対1(可決)

質疑

問 公共下水道事業受益

者負担金、公共下水道区

域外流入分担金が増えて

いる内容は。

答 受益者負担金の場合、

通常5年分割の納入にな

るが、納入される方の希

望により一括納入ができ

る。当初予算では全体の

4割程度を見込んでいた

が、実際には5割を超え

る方が一括納入をされた

実績による。

分担金は、JR東日本

で駅東側にある敷地内の

施設の公共下水道への接

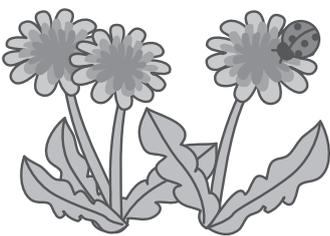
続と、青生場にあるコ

ンビニエンスストアの2

件分である。



改修された南郷球場



2月会議が2月9日に開かれました。
一般会計補正予算など3議案を審議しました。

一般会計予算に

3260万円追加

補正予算 一般会計

(要旨) 荻埜地区配水管

布設工事負担金160万円、農産物直売所土地購入費2200万円、消火栓設置工事負担金140万円、学校施設長寿命化計画策定業務委託料650万円などを追加し、総額を101億6988万円としました。

賛成13 反対1 (可決)

質疑

問 農産物直売所(花野果市場)土地購入費2200万円の根拠は。

答 不動産鑑定士の価格をもとに、みどりの農業協同組合と協議をした。

問 消火栓2カ所は、どの地域か。

答 荻埜地区配水管付設工事にあわせ、消火栓2基を新設する。

問 学校施設長寿命化計画策定業務委託料650万円の具体的な内容は。

答 小学校において40年以上、35年以上経過している学校が各1校ある。この学校施設をどう長寿命化を図っていくか、目視点検を中心とした調査を行う。

問 不動堂児童館の遊戯室壁改修工事請負費で、木柱が腐ってきた原因は。

答 平成22年ごろ、その部分に雨漏りがあったことがある。

意見が分かれた議案の賛否一覧

2月会議

○は賛成、×は反対、欠は欠席を表しています。議長は表決に加わりません。

議案番号	議案名	議員氏名													賛成	反対	審議結果		
		千葉一男	福田淑子	藤田洋一	柳田政喜	櫻井功紀	大橋昭太郎	我妻薫	鈴木宏通	橋本四郎	吉田二郎	山岸三男	佐野善弘	前原吉宏				平吹俊雄	吉田眞悦
議案第54号	平成28年度美里町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第55号	平成28年度美里町水道事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第56号	平成28年度美里町下水道事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	13	1	可決

3月会議

議案第57号	美里町郷土資料館条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第58号	美里町附属機関の議決方法に関する関係条例の整備に関する条例	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	4	10	否決
議案第66号	美里町個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	12	2	可決
議案第67号	平成28年度美里町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	12	2	可決
議案第73号	平成28年度美里町下水道事業会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第74号	財産の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第75号	権利を放棄することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第76号	権利を放棄することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第80号	平成29年度美里町一般会計予算	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	11	3	可決
議案第81号	平成29年度美里町国民健康保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第83号	平成29年度美里町介護保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第86号	平成29年度美里町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	13	1	可決

*すべての議案の賛否一覧は美里町公式ホームページに掲載しています。

ズバリ 町政を問う

一般質問

議員が行財政全般について執行機関に疑問点や方針を問うものです



議案審議の採決のようす(3月7日)

3月2日と3日に一般質問が行われました。今回は9人の議員が放射性汚染廃棄物の試験焼却や学校再編など18項目にわたり町の方針を問いました。
3月会議の傍聴者は10人でした。
次回の一般質問は6月13日に行われます。

一般質問あれこれ …… 21

各議員のページでお知らせできなかった質問を抜粋します。

佐野 善弘 …… 12

- ① 県全体の焼却処理が、最良の方法
- ② 「だて正夢」、ブランド米の戦略は

山岸 三男 …… 13

- ① 町長は、引き続き町政を担うべき
- ② 新斎場建設候補地に積極的に取り組む考えは

吉田 二郎 …… 14

- ① 南郷テニスコートの改修計画は
- ② 新藤ヶ崎1号線の整備は
- ③ 本小牛田コミュニティセンター駐車場が狭い

福田 淑子 …… 15

- ① 医療費助成を18歳までに
- ② 統廃合による町づくりは
- ③ 原発事故を風化させない、その後の検討は

柳田 政喜 …… 16

- ① 町道のラインが消え危険
- ② 保育士確保にさらなる対策を
- ③ 何年不便な思いをさせるのか

我妻 薫 …… 17

- ① 新保育所は民設民営か
- ② 水害時避難訓練の具体化は

橋本 四郎 …… 18

- ① 自治基本条例で町民の声を聞け

前原 吉宏 …… 19

- ① 特色ある学校ビジョンの進展は
- ② 新しく校舎を建設する場合の選考基準は

鈴木 宏通 …… 20

- ① 障害者差別解消の対応要領は
- ② どう進める畜産クラスター事業
- ③ 農業委員会委員の選任は

県全体の焼却処理が、最良の方法



佐野 善弘

〈町長〉試験焼却という形で進めたい

問 汚染廃棄物の本町での、稲わら、牧草、堆肥、ほだ木の保管量と放射性セシウム濃度は。

町長 稲わら334・8トン、牧草12・7トン、堆肥1・2トン、ほだ木222・2トンの合計で570・9トンである。放射性セシウム濃度は、稲わら1kg当たり2600ベクレルから6700ベクレル、牧草、堆肥、ほだ木は1kg当たり400ベクレル以下である。

問 すき込みや堆肥化による処理に関する検討は。

町長 処理方法は検討しませんが、確定していない。確定するまで、ほだ木は町有地に一時的に保管したい。

問 県内市町村での焼却を実施した内容は。

町長 仙台市では牧草、ほだ木について焼却処理が完了した。

問 安全、迅速に処理することが重要であり、県全体の焼却処理が、最良の方法であると考えますが、

町長 ハードルが高いが、安心をしっかりと担保できるとき、試験焼却というような形で進めたい。



町有地に保管されるほだ木

「だて正夢」、ブランド米の戦略は

〈町長〉市場シェアを回復する契機

問 ブランド米の戦略をどのように考えているか。

町長 「だて正夢」は低迷する宮城県産米の市場シェアを回復する契機になると捉えている。

問 業務用米の作付をJ Aなどでは誘導しているが、ブランド米戦略との整合性は。

町長 消費者の要請に応える業務用米の拡大も必要と考えている。

問 生産者の手取りの拡大は。

町長 多種多様な要望もあり、いかに米販売で生産者が、所得を確保できるのか、どのような米づくりをしたらいいか、方向性を定めたい。

問 平成30年から国による生産数量配分がなくなり、産地間競争の激化が予想されるが。

町長 農業関係団体と連携を深め、販路拡大を図り、集落営農組織の法人化支援事業を加速させ、農業経営体の体質強化に努めたい。

また、農業所得を確保するため、よい品質の米づくりや土地利用型野菜の産地化を図っていく考えである。



期待されるブランド米

町長は、引き続き町政を担うべき

〈町長〉しっかりと受け止め、判断する



山 岸 三 男

問 平成30年は改選期になる、町長は、引き続き町政を担うことが責務と考えるが。

町長 本町で抱えている問題は、学校再編、保育所整備、町営住宅整備、そして、道路の整備も含め、早急に方向性を示し予算組みをしなければいけない課題がある。来年度、再来年度に向けた方向付けをしていくのが私の役目だと思っている。

問 町の施策は1年だけの話ではない。

短期、中期、長期ということでの施策を進めて行かなければ達成できないと思うが、町長の先を見据えた考えは。

町長 今年1年間しっかりとやりながら、町民の皆さんのいろいろな意見、ご要望を、しっかりと受けとめ、その中で判断をして行きたい。

新斎場建設候補地に積極的に取り組む考えは

〈町長〉地域住民の意向を尊重し慎重に検討する

問 新しい斎場の建設に

関して大崎地域広域行政事務組合から候補地選定結果報告書の概要版が出されたが、候補地としての中埜上戸周辺の評価をどのように受け止めているか。

町長 大崎地域広域行政事務組合から示された新斎場建設候補地選定の評価結果を尊重したい。

問 中埜地区で大崎地域広域行政事務組合の職員が出向いての説明会が開催されている。

そのときの状況は。

町長 9月29日、夜7時から15名の住民の方に参加いただいた。町から私と担当課も出席し、大崎地域広域行政事務組合から今までの広域斎場の計画、準備、方

向付け、そして、上戸周辺も候補地であることの説明があった。

地域の方から「なぜここが選定候補地になったのか」、「優良農地をなぜつぶさなければならぬのか」、「車の往来が激しくなるので通学路の心配もある」などの多様な意見が出たが、大きな反対はなかった。

問 斎場という一般的な

にあまり良くない印象をお持ちの方が多くないように思うが、町長の考えは。

町長 当然、必要な施設だと思っている。

町長 大崎地域広域行政事務組合の現状を考えると、消防署本部の工事やリサイクルセンター熱回収施設工事など多くの事業が目白押しである。

1市4町の財政負担も大きいことから、計画どおりに進んでいるわけではない。若干、先送りになるのかと考えている。大切なのは、地域住民の方のご理解をいただきながら、丁寧に進めていくことであると思ってい



最新の斎場待合室(盛岡市)



吉田 二郎

南郷テニスコートの改修計画は

〈町長〉29年度中に改修計画を策定

問 南郷テニスコートは完成して長い年月が経過し、コートはでこぼこである。雨水や雪解け水が残ったり、また、東日本大震災の影響でコートに亀裂があるが、改修計画はあるのか。

町長 南郷テニスコートの改修については、29年度

中に改修計画を策定したいと考える。

問 コートの改修は、現在と同じようなハードコートにするのか。

町長 どのような形態がいか今後改修計画の中で考えていく。

問 照明灯の関係で中央と両端のコートの明るさが違う。3面とも同じ明るさにすべきと思うが。

町長 照明灯は設置位置や電球数の違いで明るさが違う。不便をかけているが、老朽化による腐食などもみられることから29年度中に改修を行う。



改修が待たれるテニスコート

新藤ヶ崎1号線の整備は

〈町長〉29年度に道路舗装する

問 原前2号線は未舗装道路であったが、昨年12月に舗装され美しい道路になった。未舗装の町道は何力所で距離はどのくらいか。また、全体のどのくらいか。

町長 町道の未舗装道路の路線数は369路線で

ある。延長は約210キロメートルで全体の40%である。

問 新藤ヶ崎1号線は、29年度の整備に含まれているのか。

町長 整備に含まれている。

本小牛田コミュニティセンター駐車場が狭い

〈町長〉さるびあ館の駐車場で対応する



狭い駐車場

問 本小牛田コミュニティセンターの27年度利用者数は2万2630人。駐車場が狭く大変である。

町長 十分な駐車場の確保が困難な状況になっている。多くの方が利用する際は健康福祉センターさるびあ館の駐車場を利用してほしい。

問 和室が雨漏りしていたことは知っていたか。

町長 29年1月に確認し、指定管理者である本小牛田コミュニティ協議会と協議し、修繕を年度内に実施する。

医療費助成を18歳までに

〈町長〉年齢拡大は考えていない

問 厚労省は子ども医療費助成を実施する自治体に対する罰則措置を2018年度から廃止する方針を決めた。県は29年度から補助拡大を決め、浦谷町は29年度から18歳まで年齢を拡大する。県内では18歳まで拡大している自治体がすでに15ある。18歳まで年齢を拡大すべきでは。

町長 年齢を引き上げた場合、さらなる一般財源の確保が必要となり、他事業の遂行に影響を及ぼすことがあるので、考えてはいない。

問 昨年末からインフルエンザが猛威を振るった。予防接種の補助は、1歳から13歳未満まで1600円である。中学生はちょうど高校受験期、高

校生は大学受験期にぶつかる。今、格差が広がっている。補助があれば予防接種ができ、重症化しないで済む。18歳まで年齢を拡大して補助すべきでは。

町長 学童期は免疫機能の発達が十分ではなく、年齢が高くなると罹患率が低くなる。現在の助成対象は妥当と考え、年齢拡大は考えていない。



インフルエンザ予防はマスクを

統廃合による町づくりは

〈町長〉将来につながる

問 小学校は地域コミュニティとのつながりが大きいので、すぐには統合しないとあるが、中学校

問 3校ある中学校が1校になり、なくなる2校周辺の地域コミュニティはどのように変化すると考えるのか。

教育委員長 すべての地域の住民が、新しくできる中学校に通う生徒を見守り支えていくことにより、新しい地域コミュニティが形成されると考える。

問 学校がなくなれば、新しい学校周辺に集まるのは当たり前である。住民懇談会では地域が衰退するのではないかと、若者が減っていくのではないかと心配の声があがっている。どういう町づくりをするのか見えないが。

教育委員長 今後の町づくりと関連づけながら検討していく。



中学校は地域の宝です

町道のラインが消え危険



柳田政喜

〈町長〉交通安全施設整備管理事業で



補修が待たれる車線ライン

問 子育て支援についての保育士の処遇改善を図るとともに保育士確保とあるが具体案は。

町長 29年度から勤続5年を超える非常勤の保育士等について、報酬の引き上げを行う。確保については、町の広報誌やホームページによる募集ハローワークや人材バンクへの登録、養成機関へ紹介依頼等を行う。

問 増えていて、改善されてない。丸森町では家賃補助、関東では奨学金の免除、入学準備金、就職準備金、給与の上乗せ補助、勤続ボーナスなど出している所もある、さらなる対策が必要では。

町長 社会状況が大きく

問 保育士不足の根本的な問題がある、仕事の内容、責任の重さに比べて報酬が安い、正職員を増やすべきでは。

町長 職員の配置、人数の関係もあるので簡単にはできない、現状で頑張っていきたい。

問 交通管理者が管理する停止線、横断歩道は見えるが、道路管理者である町の管理するラインが消えて見えない部分が多く危険である。

町長 道路パトロールで確認し、交通安全施設整備管理事業で対応しているが、追い付いていない。

問 町道南郷鳴瀬線と県道石巻鹿島台大衡線の交差点は、車線が完全に消えている、補修の予定は。

町長 29年度の交通安全施設整備事業で区画線を引くように対処したい。

問 町全体的に町道のラインが消えている、安全のために早目の対処を。

町長 特に交差点は危険箇所を把握しているので順次対処していく。

で3月末までに引く。

保育士確保にさらなる対策を

〈町長〉限られた財源の中では難しい



待機児童が増えた保育所

問 29年度の待機児童は。

町長 全体で47名、0歳児14名、1歳児20名、2歳児12名、3歳児1名。

変わり待機児童が多くなった、保育士確保が一番重要な課題だが、限られた財源の中では難しい。

新保育所は民設民営か

〈町長〉民設民営は選択肢の一つ



我妻 薫

問 地方交付税関係の処遇、処遇や給料全体が、根本的に低いことが原因の一つと考えている。

町長 今回の処遇改善は、非常勤職員の保育士に關しての改善である。

問 保育士がなかなか集まらない根本原因をどう考えるか。

町長 民間と公営の競争になると、民営圧迫ということで公営はなくなるのか。

町長 公立の保育所をなくす考えはない。

問 住民懇談会で言われた民設民営で新しい施設を増やすと現在の町直営の保育所はどうなるのか。

町長 あくまで町単独分の処遇改善である。

問 洪水ハザードマップでは、青生小学校が水害時は避難不可能とあり、山前集会所も浸水時不可とあるが、そのとおりか。

町長 平成21年3月に発行したものである。

問 新たに住民参加型の水防訓練を実施とあるが、避難等々も含まれるのか、具体的な内容は。

町長 具体的な内容は、今後、検討する。

問 保育士の処遇改善は正職員以外の非正規の保育士の待遇改善というところか。

町長 民間と公営の競争になると、民営圧迫ということで公営はなくなるのか。

問 洪水ハザードマップでは、現在もそのままか。

町長 平成21年3月に発行したものである。

問 避難路としても、沼場所も変わることが想定される。住民がどういう災害のときにどう避難するか、内閣府では災害避難カードというのを奨励し全国の実例集も出している。検討してはどうか。

町長 そういったものを導入していきたい。



保育士が不足している保育所

水害時避難訓練の具体化は

〈町長〉具体的には今後検討する

問 新たに住民参加型の水防訓練を実施とあるが、避難等々も含まれるのか、具体的な内容は。

町長 具体的な内容は、今後、検討する。

問 避難路としても、沼場所も変わることが想定される。住民がどういう災害のときにどう避難するか、内閣府では災害避難カードというのを奨励し全国の実例集も出している。検討してはどうか。

町長 そういったものを導入していきたい。

問 洪水ハザードマップは21年度に作成したもので、現在もそのままか。

町長 平成21年3月に発行したものである。

問 避難路としても、沼場所も変わることが想定される。住民がどういう災害のときにどう避難するか、内閣府では災害避難カードというのを奨励し全国の実例集も出している。検討してはどうか。

町長 そういったものを導入していきたい。



改修要望が出ている沼下橋



橋本四郎

自治基本条例で町民の声を聞け

〈町長〉町民の理解に至っていない

問 住民福祉の向上を町が自主的に行えるようにと地方分権推進法が作られたが、施政方針にはそれが感じられないが。

町長 事務事業を委託したり、組織の見直しにも取り組んでいる。

問 町民からの要望や苦情が十分に解消されていると考えているか。

町長 町民に対しては公正で透明性をもってあつたっている。

問 行政への住民の参加は合併時の方針だったが、実現しない理由は何か。

町長 住民懇談会や情報の提供、会議も公開しており、今後も検討をしていく。

問 町長は議員であった21年9月議会で「町民との協働で町づくりをなせしない」と質問しながら、協働のための条例を作らない理由は何か。

町長 町民が責任をもって町づくりに参画することとは必要だと思うが、条例となると違うように思う。そして、町民は自治基本条例の内容を把握していない。

問 町民との協働をどう考えているか。条例がなくてもできるというなら、それはどんな方法で行うのか。

町長 行政が何かをしたときに町民の力を借りし、実現することだと考えている。条例がなければできないとの偏った考えは間違っている。

問 町長になって3年、この間、何力所で座談会を行っているか。たまに集まりに行ったから、それで十分だと考えているのか。

町長 数は把握していない。大切なことは、町民の声をしっかりと聞き行政に反映することで、自治基本条例を作る選択肢もあるが、その段階には至っていない。

問 そこまで至っていないということは、町民の意識が低いということか。

町長 行政と町民が互いに理解して尊重し合うことが必要である。

問 憲法には町民が主権者であることが書いてある。町民の望む声を聞き、行うのが公務員の仕事で、

町民との意識の違いを感じるなら、意見の交換を行うべきだ。

町長 常々そういう気持ちでやってきた。十分ではないかもしれないが、町民を無視して進めるつもりはない。

問 26年に作った職員の倫理規定が十分に行われているか。

町長 倫理規定に沿って努力をしているが、十分でないこともあり、反省をしながら業務を進めている。

問 高齢者や障がい者の交通安全や住宅の換気孔などの要望があるが。

町長 法令遵守にのっとり、誠意をもって対応していく。



要望が出されている町営住宅

特色ある学校ビジョンの進展は

〈町長〉ウイノナ市との交換留学生も検討



前原 吉宏

問 教育委員長はどうか。教育委員会はどうか。

中学生の交換留学も含めて英語教育の充実に役立つか、教育委員会とともに検討したい。

町長 9月会議以降、教育委員会と具体的な協議は行っていないが、昨年12月、ウイノナ市の中学生13人を招き、バスケットボールの親善試合を開催した。



ウイノナ訪町団との交流の様子

教育委員長 基本的に町長と同じ考えで、小中学校の基礎学力を確かなものにするために、本町の小中学校の特色のある教育の一つとして、英語教育の充実を考えている。例えば、ウイノナ市との交流を活用し、職員など互いに交換し、ウイノナ市の職員に小中学校の聞く、話す英語の授業を依頼したり、東北学院大学との連携による英語教育の充実などを町長と相談し検討したい。

新しく校舎を建設する場合の選考基準は

〈教育委員長〉総合的な選考基準で判断する

問 新しく校舎を建設するとなつた場合の選考基準などは。また、建設場所の決定はいつか。

に適切に接続する道路など、全体的な形で検討したい。

の合宿所として、中学校校舎を宿泊施設としてリノベーションしたらどうか。

教育委員長 生徒が通学する上での安全と利便性、学習の良好な環境、地域防災、町づくりの観点などから総合的に判断し建設場所を選定する。現時点で時期は言えない。

問 中学校再編による子どもたちの不安軽減のため、事前に行われる小学校・小中学校間の交流などの場所や中学校の部活

の町づくりを生かしたい。

問 仮に校舎を建設するときに、通学に鉄道線路が障害になる場合の対処は。

教育委員長 小規模な踏切でも、安全確保は絶対に行わなければならない。

問 将来の安心安全な通学のため、改正踏切道改良促進法による三十軒踏切の拡幅はどうか。

町長 財政負担も大きいので、JR東日本とも



安全確保が必要な踏切(三十軒踏切)

※リノベーション…既存の建物を大規模改造し、新しい価値を加えること



早期の対応要領を



鈴木宏通

障害者差別解消の対応要領は

〈町長〉早期に全職員対応を策定

問 職員のための対応要領を策定する考えは。

教育委員長 教育委員会

病院においても早期に

町長 対応要領については、町の全職員対応用を

としては、各学校における対応が特殊であり、別

定し、職員に徹底周知する。

早期に策定し、29年度の上半期に配り、研修など

各行庁の定める指針があり、この対応指針ガイド

ラインと町が今後作って

問 各執行機関や公営企業をどう考えていくか。

いく対応要領の2つを適用していきたい。

支援地域協議会は、

※ どう進める畜産クラスター事業

〈町長〉経営の安定化を図りたい

問 肥育農家の助成は。

問 畜産クラスター事業

町長 肥育農家の経営状況が逼迫していることに、

をどう進めるのか。

緊急措置として29年4月から1頭当たり2万円を

町長 コストの削減や付

上乗せし、6万円に増額

の出を目指したJAみどりの

する。肥育農家の経営負担の軽減を図りながら、

畜産振興を図る。畜産振興を図る。畜産の安定化を図る。

農業委員会委員の選任は

〈町長〉議会同意を得て町長が任命

問 農業委員の選任までの経過は。

農業委員会 改正農業委員会法は、小牛田、南郷の区域割はなくなり、

農業委員会委員の選出は町長が議会の同意を得て

任命する任命制に変わり、

おおむね1カ月間、候補者の推薦、募集を行う。

問 農地利用最適化推進

委員の役割は。

農業委員会 委員会が

定めた区域内で農地などの農業上の利用の確保、

経営規模の拡大、集団化、新たに農業を営もうとする人の参入の促進業務を行う。



高騰している子牛

※畜産クラスター事業…畜産農家と地域の関係者が連携・結集し、生産基盤の強化を図る

一般質問

あれこれ

参加者とともに課題や対策について学ぶ機会をつくり、福島原発事故の風化防止につなげたいと考えている。

柳田 政喜

何年不便な思いをさせるのか

問 中埜小学校プール新設及び現状の安全対策は、**教育委員長** 安全対策において課題を抱えており、29年度から北浦小学校のプールを2校で使用する。

福田 淑子
原発事故を風化させない、その後の検討は

問 福島原発事故を風化させないための事業について、12月会議で、29年度に予算化し進めていくと言ったが、どう検討したのか。

町長 町の防災講演会のテーマを原子力防災対策とする予定であり、事故の経験談などを聞いて、

問 学校建設当初からの懸案事項、古い離れたプールで我慢し、子どもたちは新設を待っていたのに、さらに遠くなるのか。
教育委員長 学校敷地内にプールがあるべきだが、高額な費用がかかる。不便をかけ恐縮に感じている。夏休みもシャトルバスなどを準備して、水泳できるような環境を整えたい。

陳情書等一覧

2月、3月会議で全議員に配付しました。

件名	提出者	受付
東日本大震災による被災者医療等一部負担金免除の継続・復活を求める陳情書	東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター 綱島 不二雄	29年1月16日
農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる要請	宮城県農民運動連合会 会長 鈴木 道夫	29年2月10日
平成29年度「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税 特別徴収税額の決定・変更通知書(特別徴収義務者用)」への個人番号記載の中止を求める陳情書	宮城県保険医協会 理事長 井上 博之	29年2月14日

*陳情書とは、紹介議員のある請願書以外のものをいいます。

みなさんの声

議会だよりのクイズにお寄せいただいたハガキやメールのメッセージを一部ご紹介します。

- 住んでいる町で現在、どのような事が行われているのか知る事ができ便利だなと感じています。(24歳 女性)
- 議員の方へ。未来の子供達のための町づくりをよろしく願います。(36歳 男性)
- 出前授業、これはとてもいい事だと思います。議員さん方も子供達の意見も聞けますし、子供達は議員さん達が子供達のため美里のため一生懸命頑張ってくれているんだと知る事が出来て、とても良い事だと思います。(65歳 女性)
- ふれあいコーナーいつも楽しみに読んでいます。(94歳 女性)
- 子宮ガン検診を集団検診で行けない場合、チケット等を発行して、好きな日時、病院で受診できるようにして頂くと助かります。体調等デリケートな部分もありますので、是非ご検討頂きたいと思います。(54歳 女性)
- 議会での一般質問を、毎回興味深く見えています。今の一番の関心事は、下水道工事、学校再編です。(61歳 男性)
- 合併10年を過ぎ、色々と課題はあります。道路、学校、高齢化、少子化と福祉も限らないものですが、優先的なのは何か。予算もあると思います。今後、期待したいと思います。住民の意見も取り入れて着々と解決出来たらと思います。美里町の活性化を願っています。(61歳 男性)

追跡

あれどうなってんのしゃ

28年3月議会の予算審査で意見を付した「その後」を報告します。

町営駅東駐車場の存続も含めて検討を

昨年3月議会の予算審査で駅東駐車場の存続も含めて検討するよう意見を付しました。

駅東駐車場は隣接する民間駐車場の影響による利用台数の激減が確認され、議会では今後の運営について検討するよう求めました。

どうなった

3月31日をもって休止

駅東駐車場の利用実績台数は、24年度が1万32台、25年度が1万1,618台、27年度が1万2,400台、28年度が1,286台です。

町は29年3月31日をもって小牛田駅東駐車場を休止することとしました。



休止した駐車場

ふれあいコーナー

これからの農家

邊見 勝寿

私が父から農業の経営を譲り受けてから、早20年が過ぎ、なんとか自分で思うような経営ができるようになってきたと思いますが、現在の農業情勢では今後どう経営していけば良いものかと考えさせられます。

私の地区でも平成19年に集落営農組合を立ち上げ、当初から法人化に向けて取り組みをしなければならなかったのですが、10年前は、まだ農家の先輩方が若く「まだまだやれる」と、頑張っていたいていしましたが、他の組合同様、現在若い担い手の不足や、集落内の農地をどう守っていけば良いのだろうか、そんな大きな課題があります。今後の法人化という大きな目標に向かって、これからも集落内で多くの話し合いを重ね、町の協力も得ながら法人化を目指していきたいと思えます。

今回は二又の邊見勝寿さん、中二郷の川名由倫さんからの投稿です。



美しの里で醸す 日本酒を全国へ

川名 由倫

日本酒を醸し、美里町をはじめ宮城県内や、都内や関西の皆さまにご愛顧いただいております。冬は蔵に籠ってお酒造りに励み、春から秋にかけては全国のような日本酒関連イベントに参加して、自社商品のPRに努めています。

たとえば4月は、中田英寿氏主催の「CRAFT SAKE WEEK 六本木ヒルズ」に昨年に続きお声掛けいただいております。こうしたイベントの目的は、「黄金澤」「橋屋」をごひいきくだ



さるお客さまを増やすことはもちろん、「宮城の美里町」というところに、美味しい日本酒を造る酒蔵がある」ということを全国の皆さまに知っていただくことも一つです。

そのためにも、ひと冬ひと冬より美味しいお酒を造り、お客様にお届けできるよう心掛けております。

微力ではございますが、私たちが醸すお酒をきっかけに、美里町への関心が広がれば幸いです。

大好きな歌舞伎へ足を運びながら、今年も美里のお酒を手を全国を駆け回ります！

クイズ

問 ○の中には、どんな数字、文字が入るでしょうか。

- ①29年度一般会計予算は、○億37万円
- ②議会○○条例が制定される
- ③一般質問、○人の議員が18項目を質問

応募方法

ハガキまたはEメールに答え、住所、氏名、年齢、ご感想などを記入の上、議会事務局までお寄せください。正解者の中から抽選で5人に記念品を差し上げます。

あて先

〒987-8602
美里町議会事務局 議会だより係
E-mail:gikai@town.misato.miyagi.jp

締切日

平成29年5月31日(水)(当日消印有効)

前号の当選者 おめでとうございませ
(応募31件、正解者30人)

- ・伊藤修二さん(福ヶ袋)
- ・熊谷孝司さん(御免)
- ・佐々木なを子さん(横埜)
- ・目黒順子さん(中埜1区)
- ・菅井ハナ子さん(不動堂6区)

◎前号の答え

(1・7644・5)

お知らせ

議会だよりでお伝えしきれない会議の記録は、美里町公式ホームページまたは近代文学館や南郷図書館でご覧になれます。

美里町公式ホームページ
(URL:http://www.town.misato.miyagi.jp/)の
「町議会・監査」→「会議録」から閲覧できます。

皆さん議会を傍聴してみませんか

次回の会議

予定

6月13日(火)午前10時から

手続きは簡単、当日住所と名前を書くだけです。

一般質問通告書は、ご希望の方に無料で提供します。

編集後記

2月14日付で県町村議会議長会より、議会広報で特選をいただきました。

3月会議では31議案、100億円の29年度一般会計当初予算により保育士等の処遇改善や起業サポートセンター「Kiribbi」による起業創業支援、小牛田地区幼稚園の給食提供などの計画を進めて行くことが決まり、また、町民に信頼される議会を目指し、議会基本条例が4月1日より施行しました。

財政の健全化、教育施設整備、地域振興などの課題があります。これからの町や地域のことをどう進めていくのがいいのか、住民の皆さんの意見を幅広く聞き、先々に繋がる思考を練り広げていかなければならないと考えます。

編集委員6名が全力で皆さんに関心を持っていただける紙面づくりにまい進してまいります。

発行責任者

議長 吉田 眞悦

議会だより編集特別委員会

委員長 前原 吉宏

副委員長 鈴木 通宏

委員 柳田 政喜

委員 吉田 二郎

委員 山岸 善弘

委員 佐野 弘

